



NACISIS-CAT/ILL WS 参加報告

山口大学 大塚由希子

NACISIS-CAT/ILLワークショップについて

- ▶ 日程： 平成24年7月18日（水）～7月20日（金）
- ▶ 会場： 国際高等セミナーハウス in 軽井沢
- ▶ 参加者： 10名（男性4名、女性6名）
※北海道～福岡の国立・私立大学から



ワークショップの目的・到達目標

▶ 目的

- ▶ 『次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告)』(平成21年3月)では、現状の課題の一つとして、NACSIS-CAT外に存在する書誌データを活用し、参加館の目録作業の軽減化を図ることが掲げられている。(中略)

平成24年度は、外部データの活用をテーマに運用体制やシステムの改善を検討し、今後の目録業務のあり方を考える契機とする。

▶ 到達目標

- ▶ 目録関連業務における中核的人材として、目録所在情報サービスの「総合目録」の意義を理解し、様々な課題解決に向けた提案ができ、総合目録データベースの将来を担う人材となる。

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/>より抜粋

自分の目的・到達目標

- ▶ 目録を担当して1年3ヶ月・・・
マニュアルを頼りに目録作成はなんとかできるが、システムについての理解は・・・
- ▶ 山口大学におけるシステムリプレイス、目録外注化等
⇒ 目録業務の効率化が課題に。
- ▶ 目録について、全体を見て考えられるようになりたい。

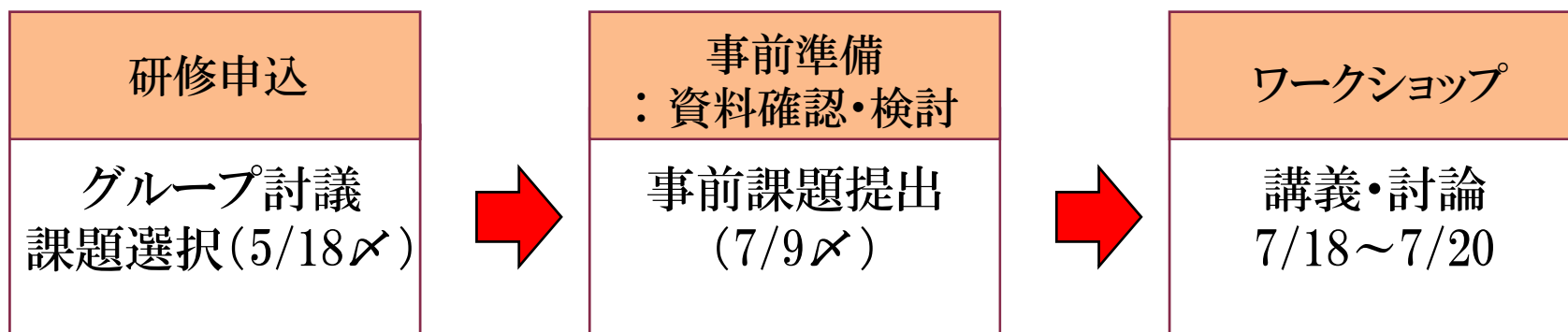
ワークショップのテーマ

▶ 平成24年度のテーマ

「目録業務における外部データ活用 のモデル設計」

下記の内、最も興味のあるテーマを選択。

- (1) TRCMARCからの事前書誌登録
- (2) NDL-OPAC及び国立国会図書館サーチからの事前書誌登録
- (3) 書誌名寄せ技術を活用した重複除去



事前準備

▶ 事前確認資料

1. 次世代目録所在情報サービスの在り方について(最終報告)
2. 電子的学術情報資源を中心とする新たな基盤構築に向けた構想
3. 電子環境下における今後の学術情報システムに向けて
4. NACSIS-CAT/ILL参加館状況調査アンケート結果報告書

(参考資料)

1. TRCMARCの流用による試行登録作業結果
2. オンライン共同分担目録方式の最適化に向けた大学図書館の観点からの調査・検討
3. 名寄せ～学術コンテンツへの適用」

▶ 事前課題・提出物

1. 事前アンケート
2. 事前課題： 選択課題について現状分析・問題提起とその改善案
PowerPoint形式で提出 ⇒ 8分間で発表

WSカリキュラム (7/18~20)

▶ 7/18

講義1: NACISIS-CATの現状と課題

講義2: TRC MARC作成の実際

講義3: 公共的書誌情報基盤: JAPAN/MARCデータの提供について
事前課題プレゼンテーション、討議準備

▶ 7/19

講義4: CiNiiの名寄せ技術

講義5: 外部MARCを活用した目録業務の実際

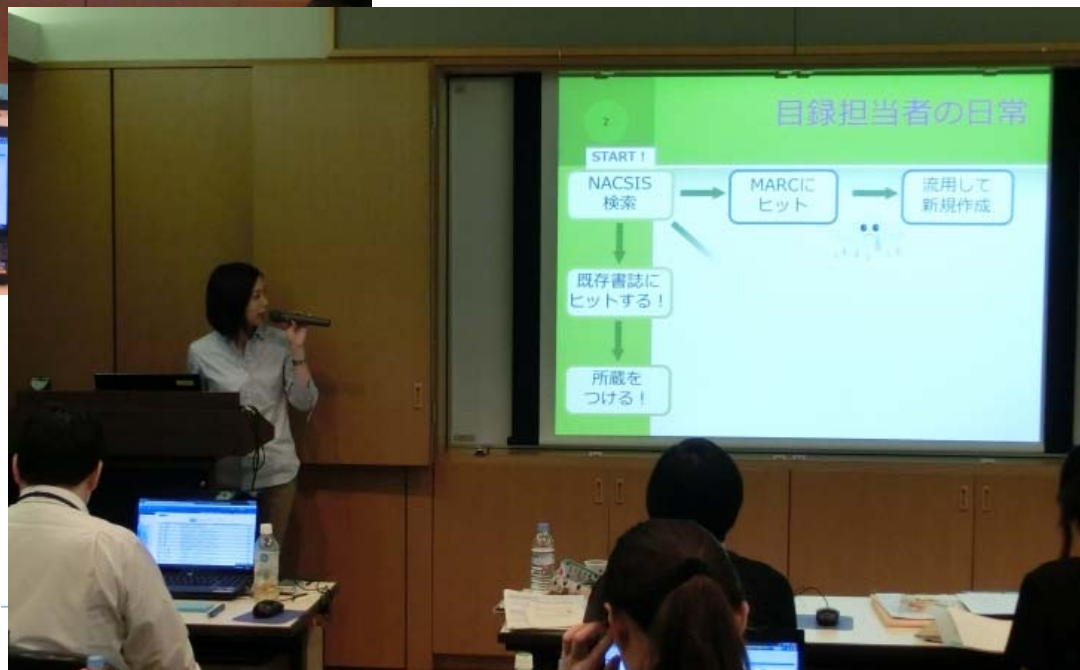
グループ討議、グループ意見交換会

▶ 7/20

成果報告、全体討議、振り返り、成果物修正、閉講式

◎研修テーマに関するグループ討議が主体

1日目 講義 ⇒ 事前課題プレゼンテーション



討議準備



グループ2：NDL-OPAC及び国立国会図書館 サーチからの事前書誌登録

事前課題プレゼンテーション

▶ 大塚

『「うはや」システムを目指して』

:NDL新着書誌情報と作成完了書誌の活用について

▶ 橋井さん(鳥取大学)

『書誌データをとおして利用者に広範囲な資料提供を』

:現状分析、NDL Searchと各種データベースの連携について

▶ 矢崎さん(九州女子大学)

『目録担当者減少に伴う中小規模図書館の業務改善』

:購入依頼、目録データ作成時のJAPANMARC活用について

2日目 講義、グループ討議、グループ意見交換会



グループ討議にて 1

2班のテーマ：「NDL-OPAC及び国立国会図書館サーチからの事前書誌登録」



外部書誌、もっと色々あるよね

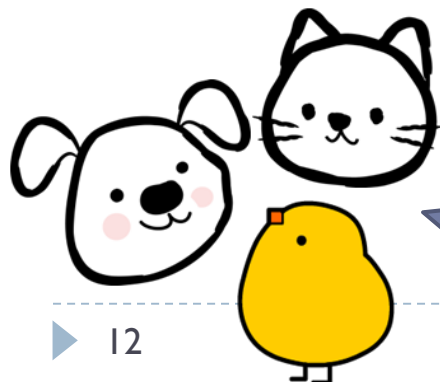
どうせなら、使える外部書誌を全部使いたい



テーマとは違いますが、他の外部書誌に範囲を拡げても構いませんよ。



海外MARC、書店DBも含めて考えてみよう！

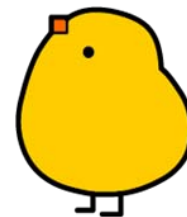


グループ討議にて 2



書誌情報を発注の時から使いたいな

でも、書誌の品質は落としたいくない



- ▶ 広範な外部書誌を利用する上でのメリット: 効率化
デメリット: 事前書誌への濫用による書誌品質の低下

外部書誌を活用した効率化と、機械的な名寄せ等
によってなるべく人の手をかけずに書誌の品質が
維持できるシステムが理想的だね



- ⇒ 全体の流れが確定。実際の業務フローに
当てはめて、詳細を検討。



2日目 グループ意見交換会（中間報告）



3日目 成果報告



成果物抜粋

使えるものは何でも使おう!!



からウロコの
新目録システム

平成24年7月20日(金)
2班(橋井・矢崎・大塚)



1

成果物抜粋

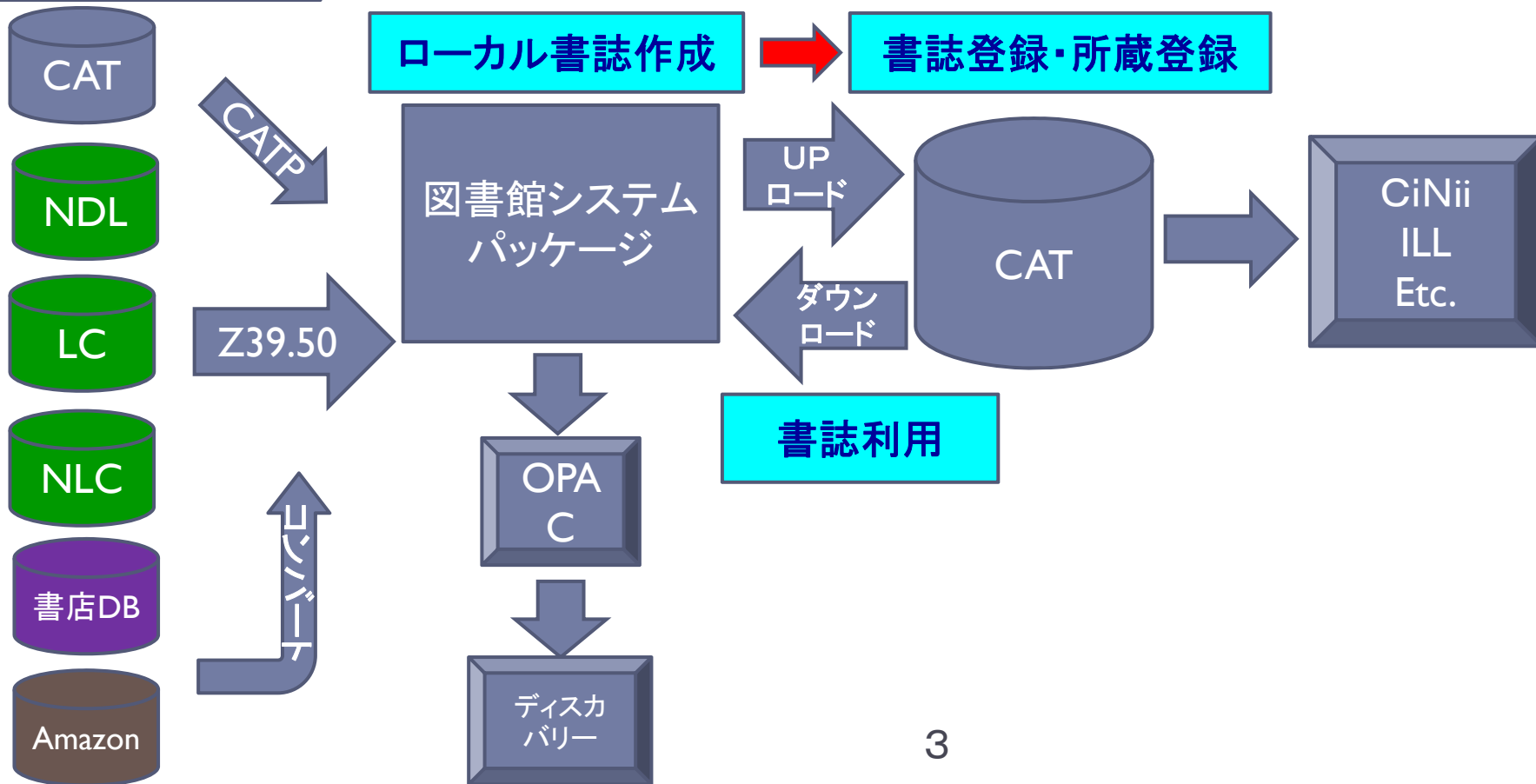
広範な外部
MARCの活用

外部MARCを活用してローカル書誌を
作成、その後CATに反映させることで、
CAT書誌の品質を維持。

書誌検索取り込み

ローカル書誌作成

書誌登録・所蔵登録



成果物抜粋

受入

書誌作成・所蔵登録
(各参加機関)

CAT内仮置き場所
品質維持のため、作成され
た書誌・所蔵情報をBOOK
と別の場所に取り込む

詳しくはWEBで

<http://www.nii.ac.jp/hrd/ja/ciws/>

外部データ
による書誌
<BX.....>

による書誌

<BX.....>

<YB.....>

消耗品的資料等所蔵UPロードさ
れないものはローカル書誌作成

書誌

XBOOK

<BX.....>

定期的な期間を
置いて削除

3日目 全体討議



3日目 振り返り・成果物修正、閉講式



ワークショップに参加して

- ▶ 総合目録データベースについて理解を深めることができた。
: NIIの方達や、他大学のベテランさん達から沢山勉強させていただいた。
- ▶ WSの中で検討したことが、実際の業務につながった。
- ▶ 「今後の目録業務のあり方を考える契機とする。」